

新宮山彦ぐるーぷ第2088回

前鬼・三重の滝登山道の倒木処理

◇実施日：2020年7月24日（金・祝）曇り

◇参加者：梶野照雄

1名

7月23日に新宮で茂原先生との会食があったので、翌日帰り道に前鬼に回って6月に切り残した倒木の処理を行った。



小仲坊に到着

杭をデポ

関伽坂峠先で

午前9時45分、小仲坊に到着。4連休なので車も多数停まっていた。五鬼助さんに挨拶して三重の滝看板の杭をデポさせて頂いた。倒木現場までは一時間弱なので、隣地の森本坊跡の石垣周りに伸び出しているミツマタの枝を切りながら関伽坂峠を目指す。

関伽坂峠で小休止し、2月に処理した大木に「刈峰行」の標識を取り付けた。



倒木の切除処理

11時半前に倒木現場着、すぐに谷側から切断を始めた。山側の根までは8m程あるので、上部は動かないと思ったが、谷側はどんな動きをするか予想できないので、両側から「字」に切り込みを入れた。15分程作業し、12時前だったので昼食にする。

食後作業再開、約2分で谷側の切断が完了した。切断した先端部分は谷下に1m程滑り落ちた。跳ね上がりも真下に落ちる事も無かったので、慎重に切る必要はなかった。直線に切るだけで刃が挟まることは無かったので、10分位は時間短縮できたと思う。谷側の切断が終わったので山側の切断を始める。5分程で約半分が切れたが、燃料切れでエンジンストップ、振り返ると登山者4名が通過待ちをしていた。「燃料切れなので」と通過を促す。垢離取場が渡れたかを聞くと、普通に通過できたと答えがあった。4名を見送り燃料を

補給して作業再開。6分で切断完了、切り落とされた1.2mの幹を谷側に転がして倒木処理を終えた。作業時間は昼食をはさんで55分だった。
帰路、斜木と腐倒木を切除、午後2時過ぎ小仲坊に戻った。



帰路に2本を切除



関伽坂峠で

(記；梶野)

行動タイム

09：45 小仲坊 10：20→10：55 関伽坂峠→11：34 倒木現場 12：33
→13：15 関伽坂峠→14：05 小仲坊